

耳鼻咽喉科・頭頸部外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	成人閉塞性睡眠時無呼吸に対する口蓋扁桃摘出術時に気管切開術を併用するべき因子の検討
研究機関名及び研究機関の長 (試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科)耳鼻咽喉科・頭頸部外科(職名)助教(氏名)有元 真理子
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>〔利用目的〕</p> <p>本研究の目的は、成人閉塞性睡眠時無呼吸患者に対して口蓋扁桃摘出術を行う際に、術後出血や気道確保の観点から、気管切開術を併用するか否かの判断をするための指標を明らかにすることです。</p> <p>〔対象となる患者さん〕</p> <p>2008年6月から2018年6月までに、愛知医科大学病院耳鼻咽喉科にて全身麻酔下に口蓋扁桃摘出術が施行された20才以上の患者さんのうち、閉塞性睡眠時無呼吸と診断されていた患者さん</p> <p>〔研究期間〕</p> <p>研究実施承認日 ~ 2025年10月31日</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>対象患者さんを、気管切開がなされた群となされなかった群の2群にわけ、2群間において、様々な検討項目につき比較検討します。</p> <p>検討項目は、過去の診療記録より取得します。</p> <p>さらに、気管切開がなされた群のうち、取得した数項目を説明変数として、術後出血止血処置を予測する因子についても解析します。</p> <p>検討結果は、論文にて発表を行います。論文はインターネットより入手することができます。下記問い合わせに連絡をいただければ、研究結果を開示いたします。</p> <p>他の機関への情報提供はなし。</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：採血結果、終夜睡眠ポリグラフ検査や簡易モニターの結果、質問紙(エプワース眠気尺度)の結果、頭部単純X線写真 等。
試料・情報の提供を行う機関の名称及び	非該当

その長の氏名	
提供する試料・情報の取得の方法	非該当
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	非該当
利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年10月31日までに、メール、郵送、電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、論文投稿後には、情報の削除ができなくなります。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 担当者：(職名)助教 (氏名)有元 真理子 住所：〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話：0561-62-3311(内線22173) メールアドレス：arimoto.mariko.083@mail.aichi-med-u.ac.jp